



3月号 (No.1 2)

2023年2月27日

帝京大学小学校だより

帝京大学小学校

4月からの帝京大学小学校

帝京大学小学校 校長 石井卓之

6年生の修学旅行はコロナの状況を考えて沖縄から奈良・大阪に行き先を変更し、2月14日から3泊4日で実施しました。大阪では、現地の留学生と一緒にグループで観光ポイントを回るといふ、大阪市とJTBが企画したプログラムを活用しました。3日目は丸1日、USJ内を自分たちで計画的に回るといふ内容で、多くの子どもたちが「楽しかった。」と、満面の笑みで感想を述べていました。私も3年目にして初めて、修学旅行の引率に参加することができました。段階的にはありましたが、学校の日常がもどりつつあることを感じています。

オンライン保護者会でもお話ししましたが、4月からの新たな取り組みについて、お知らせします。

○水泳指導 (1年生～4年生)

ねらい：水に親しみながら安全防止の心得を学び、続けて長く泳ぐことを目指す。

場 所：多摩センター、アクアブルー (往復はスクールバス)

方 法：1・2年、3・4年の2学年を班別指導

指導は施設のインストラクター、安全管理は体育科教員及び学年

内 容：学校の指導計画を踏まえ、インストラクターが実施する。

回 数：6月中に各学年3回

○セカンドスクール (3年生・4年生)

ねらい：自然に親しみながら、複数学年で協働して活動のねらいを達成する。

場 所：多摩市立八ヶ岳少年自然の家

方 法：3・4年生の2学年で施設を貸し切る。

管理職、3・4年の担任、専科教員等が引率する。

プログラムは本校の子どもの実態に合わせて施設の職員と本校教員で作成する。

日 付：2023年6月19日 (月)～21日 (水)

○特色ある教育活動

- ・4年生：東京都労働局の小中学生起業家支援プログラムを実施
- ・5年生：本校と企業が連携して作成している起業家体験プログラムを実施
- ・6年生：海外で起業家を育成している企業と連携して、バリ島を学びの場とし、チョコレートの原料であるカカオ豆を題材にSDGsやフェアトレードについて学ぶ (英語での交流も)。

全14時間 「It's チョコレート world」

第1時 問題発見場面

「バリからのビデオレター」

映像
カカオの実が海に流れ着く

中には、ビデオレターが！?

内容
カカオ農家は今、気候変動や労働問題等多くの問題を抱えている。

私たちカカオ農家の人々はこの現実を、より多くの人に知ってほしい。

おいしいカカオ豆を作って、楽しく暮らしたい。



DAY1 「貧困の農業に触れる」

第2・3・4時
2時アイスブレイク

「これはインドネシア語を知らないといけないぞ！」

内容
自己紹介ゲーム

3時「カカオ農家を知ろう」

内容
バリ島の環境問題について知る

4時「カカオの皮むき体験をしよう」

C:これがチョコレート材料!?

内容
実際にカカオの実に触れてみる。

DAY2 「カカオ農家体験」

第5・6・7時
5時

「カカオ収穫体験」

内容
「カカオ農家に訪問」

内容
「カカオ農家にインタビュー」

調べ学習につなげる

「私たちが、できることを考えよう。」

※ズームで現地の人とつながる

※ARの使用

第8・9・10・11時 「調べ学習」

例)カカオの実を剥いた皮でできることがないかを調べ、

Keynoteにまとめる。

・モノづくり

・実験

・チョコレートづくり

・自然エネルギーの利用



DAY3 「提案しよう」

第12・13・14時

12時「フラベチーノづくり」

内容
チョコレートフラベチーノを作り、実際に飲んでみる。」

13・14時

「提案しようカカオ農家が豊かに暮らせる方法」

全グループが発表したのちに、相手からメッセージをいただき、こちらからも英語であいさつをします。

